

平成27年度横浜市民スポーツ意識調査

～子どもの頃からの運動意識と運動習慣～

(公財)横浜市体育協会では、平成 19 年から毎年、横浜市民の運動・スポーツ実施状況とスポーツに対する意識を把握するため、市民スポーツ意識調査を行っています。27 年度は、「過去 1 年間の運動・スポーツ実施種目」の他に、「オリンピック・パラリンピック・ラグビーワールドカップに関する意識」、「子どもの頃の運動への意識」、「回答者のお子さんの運動実施種目」、「興味のあるスポーツ関連商品」についても調査を行いました。

この度、これらの調査結果を取りまとめ、横浜市民スポーツ意識調査報告書を作成いたしました。

TOPICS

- ☞ スポーツは「する」よりも「観る」ことが好き
- ☞ 週 1 回以上はスポーツをしたいと思っている人が「74.1%」にのぼる
しかし、実際に行っている人は「49.3%」止まり (H26 よりは+9.9 ポイント増)
- ☞ スポーツに費やしたい金額は「年額 36,000 円未満 (月額 3,000 円未満)」
- ☞ 「イベント・大会」でのボランティア活動希望が高まる
- ☞ 子どもの頃の「意識」と「運動習慣」が成人してからの運動習慣にも影響
- ☞ 「横浜市の子どもの体力が全国平均よりも低い」ことの認知度はたったの「14.4%」
- ☞ 子どものスポーツ種目、時代の流れとともに減少する「投げる」競技種目
- ☞ オリンピック・パラリンピック・ラグビーワールドカップは、「市内でのイベント開催を希望」する声
- ☞ 興味のあるスポーツ関連商品は「スポーツウェア・シューズ・バッグ」

◆◆調査概要◆◆

- ◇対象者：横浜市に居住する満 20 歳以上男女
- ◇調査方法：インターネットによるアンケート調査
- ◇調査期間：配信日平成 27 年 10 月 16 日～10 月 19 日
- ◇回収状況：有効回答数 1,600 件

◆本調査の結果概要は、ホームページでも公開しています。詳しくは(公財)横浜市体育協会ホームページをご覧ください。
ホームページ：<http://www2.yspc.or.jp/ysa/jigyoshokai/chosa/>

お問い合わせ先

(公財)横浜市体育協会 経営企画部長 今井 健雄 Tel 045-640-0016